

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	実習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	竹元 明子							ICT活用	○
授業概要	臨床栄養学分野で学んだことを基礎として、個人毎に自ら研究テーマを決定する。テーマについて文献等を検索し研究計画を作成する。計画に基づき調査・研究を行い、得られた結果についての確な考察を行い卒業論文を作成する。								
関連する科目	全ての必修科目を受講し、単位を修得しておく。								
授業の方法と進め方	原則週1回の卒業研究指導（全員） 随時、個別相談・指導を行う。データーをまとめ論文作成後、発表会（パワーポイント使用）を行う。 論文集を作成する。								
第1回	ゼミの年間計画、研究の進め方、留意事項について説明する。								
第2回	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 専門に関する書籍等から、テーマを決める。								
第3回	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 研究テーマを決定し、それに関する論文・文献検索。 研究に関し、倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								
第4回	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 研究テーマを決定し、それに関する論文・文献検索。 研究に関し、倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								
第5回	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 研究テーマを決定し、それに関する論文・文献検索。 研究に関し、倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								
第6回	研究テーマの決定 先行研究、文献等の検索 研究テーマを決定し、それに関する論文・文献検索。 研究に関し、倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								
第7回	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
第8回	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
第9回	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
第10回	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
第11回	研究内容の実施プラン作成 論文・文献検索し、実施プランを作成する。								
第12回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認 倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員、研究室員と協議する。								
第13回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認 倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員、研究室員と協議する。								
第14回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認 倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。								

	調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員。研究室員と協議する。
第15回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員。研究室員と協議する。
第16回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員。研究室員と協議する。
第17回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員。研究室員と協議する。
第18回	実施プランに沿って、研究対象者の選定、研究内容の検討。調査に必要な書類の準備。確認倫理的配慮が必要であれば、それに対する書類の準備。  調査用紙の作成 調査用紙を作成し、担当教員。研究室員と協議する。
第19回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第20回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第21回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第22回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第23回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第24回	研究の実施。調査用紙配布、回収、回収状況確認。
第25回	研究調査の集計。
第26回	研究調査の集計。
第27回	研究調査の集計。
第28回	研究調査の集計。 中間報告。
第29回	研究調査の分析。
第30回	研究調査の分析。
第31回	研究調査の分析。
第32回	研究調査の分析。
第33回	研究調査の分析。
第34回	研究調査の分析。
第35回	研究調査の分析。
第36回	研究調査のまとめ。
第37回	研究調査のまとめ。
第38回	研究調査のまとめ。
第39回	研究調査のまとめ。

第40回	研究調査のまとめ。
第41回	研究調査のまとめ。
第42回	研究調査のまとめ。
第43回	研究調査のまとめ。
第44回	研究調査のまとめ。
第45回	研究調査のまとめ。
第46回	卒業論文作成・研究発表準備。
第47回	卒業論文作成・研究発表準備。
第48回	卒業論文作成・研究発表準備。
第49回	卒業論文作成・研究発表準備。
第50回	卒業論文作成・研究発表準備。
第51回	卒業論文作成・研究発表準備。
第52回	卒業論文作成・研究発表準備。
第53回	卒業論文作成・研究発表準備。
第54回	卒業論文作成・研究発表準備。
第55回	卒業論文作成・研究発表準備。
第56回	卒業論文作成・研究発表準備。
第57回	卒業論文作成・研究発表準備。
第58回	卒業論文作成・研究発表準備。
第59回	研究論文発表会・協力者への報告。
第60回	研究論文発表会・協力者への報告。 論文集作成。
授業の達成目標	調査・研究の立案、実施、論文作成により臨床栄養分野での更なる分析・評価・考察力を学ぶ。 研究テーマの調査を通して、今まで学習した臨床栄養学を理解すると共に、研究の意義、解析方法等の知識を身につける。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	研究テーマを、常に意識し日々の新聞、ニュース等も関心をもってみる。 関係する学術機関誌は必読。
授業時間外学【復習】	研究テーマを、常に意識し日々の新聞、ニュース等も関心をもってみる。 関係する学術機関誌は必読。
課題に対するフィードバック	研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。 必要に応じて修正・加筆を行い最終の研究成果をまとめた論文とする。
評価方法・基準	研究意欲・知識の習得状況・研究態度・論文内容・発表を総合して行う。 研究デザイン、統計の基礎、引用文献、研究限界の理解度をはかる。
テキスト	必要に応じて文献・参考資料を提示する。
参考書	必要に応じて文献・参考資料を提示する。
備考	



## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究						授業形態			
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年		実務経験担当教員	○	Active・L	○	
担当教員名	杉尾 直子							ICT活用	○	
授業概要	<p>「食を通して地域に貢献すること」を目的とした研究です。食べ物と健康との関係を広く捉え、調査等から課題を見つけ、トータルマネジメントやサポートによって地域への還元を目指す研究です。例えば、小中学生対象に「スポーツ栄養」、宮崎市域住民を対象に「食と生活習慣病」、若年層対象に「望ましい食事」から体験活動を含めた栄養教育を実施し、生涯に渡って心身共に健全な生活を送れるよう支援支援も含めた研究等を行っています。</p> <p>栄養教諭等で児童生徒、保護者、地域の関わった食育活動を行ってきた実務経験や体育協会での活動をを活かし、取り組んでいきます。</p>									
関連する科目	3年次までに学習してきた教科全体が関連してきます。									
授業の方法と進め方	<p>①研究テーマによって、進め方が違う。他の研究室と合同で研究する場合もある。</p> <p>②いろいろな学会の論文を読んで学ぶことから始める。</p> <p>③基本的には、実態把握を行い、活動から論文を作成する。</p>									
第1回	研究に関する全体計画（年間活動計画）の作成からシュミレーションする①									
第2回	研究に関する全体計画（年間活動計画：学童）の作成からシュミレーションする②									
第3回	研究に関する全体計画（年間活動計画：地域）の作成からシュミレーションする③									
第4回	研究に関する全体計画（年間活動計画：スポーツ）の作成からシュミレーションする④									
第5回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる①									
第6回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる②									
第7回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる③									
第8回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる④									
第9回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる⑤									
第10回	今までの各種論文を読みとき研究に活かせるようにまとめる⑥									
第11回	今までの各種論文研究からの自分でまとめたものを発表①									
第12回	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表②									
第13回	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表③									
第14回	各種論文研究からの自分でまとめたものを発表④									
第15回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成①									
第16回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成②									
第17回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成③									
第18回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成④									
第19回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成⑤									
第20回	研究に関する評価を見据えた調査用紙等の作成⑥									
第21回	アンケートの実施及び現場での調査等①									
第22回	アンケートの実施及び現場での調査等②									
第23回	アンケートの実施及び現場での調査等③									
第24回										

第25回	アンケートの実施及び現場での調査等⑤
第26回	統計に関する講義①
第27回	統計に関する講義②
第28回	統計に関する講義③
第29回	統計に関する講義④
第30回	統計に関する講義⑤
第31回	アンケート等の集計①
第32回	アンケート等の集計2
第33回	アンケート等の集計③
第34回	アンケート等の集計④
第35回	アンケート等の集計⑤
第36回	アンケート等の分析①
第37回	アンケート等の分析②
第38回	アンケート等の分析③
第39回	アンケート等の分析④
第40回	アンケート等の分析⑤
第41回	論文の書き方①
第42回	論文の書き方②
第43回	論文の書き方③
第44回	論文の書き方④
第45回	論文の書き方⑤
第46回	論文作成①
第47回	論文作成②
第48回	論文作成③
第49回	論文作成④
第50回	論文作成⑤
第51回	論文作成⑥
第52回	論文作成⑦
第53回	論文作成⑧
第54回	論文作成⑨
第55回	論文作成⑩
第56回	全体まとめ及び製本①
第57回	全体まとめ及び製本②
第58回	全体まとめ及び製本③

第59回	担当教員の研究室でのチェック①
第60回	担当教員の研究室でのチェック①
授業の達成目標	授業時間外の調べ学習から「食」に関する課題をみつけ、1年間の卒業研究を通して、統計処理や論文が書ける。 【知識理解・技能・高度な専門量】 【人間力、社会性の涵養を目指す】 【課題探求力、情報リテラシー】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外学習【予習】	年間計画を作成するにあたって、関連する研究の学会発表や論文を検索し、情報収集を行います。
授業時間外学【復習】	途中までの研究やまとめ方を見直します。
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。
評価方法・基準	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究						授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○	
担当教員名	渡邊 純子							ICT活用	○	
授業概要	<p>栄養教育論分野で学んだことを基礎として、主体的に研究課題を検討し先行研究等を調査した上で研究計画を作成し、計画にそった栄養教育により得られたデータを用いて評価します。これら一連の取組みについてまとめ、卒業論文を作成する。管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験に基づき、全てのライフステージ対象の実践的营养教育について指導を行う。</p>									
関連する科目	全ての必修科目。 年度内に全ての必修科目の単位を取得すること。									
授業の方法と進め方	<p>原則週1回の卒業研究指導（全員） 卒業研究では各自の設定した課題に関する研究計画・実施・結果報告・評価について、グループディスカッションやグループワークを中心に行う。【論理的思考,自己管理能力・自律性の育成】。 随時、個別指導や体験学習等を取り入れて指導を行う。 また、卒業論文作成後の成果発表ではディスカッションを通じて理解を深める。</p>									
第1回	<p>オリエンテーション① ・各自のテーマにそった卒業研究の全体計画の立て方</p>									
第2回	<p>オリエンテーション② ・卒業研究を進めるに当たっての留意事項等</p>									
第3回	<p>研究課題設定の準備① ・研究課題の検討 ・先行研究、文献資料の検索・収集</p>									
第4回	<p>研究課題設定の準備② ・研究課題の検討 ・先行研究、文献資料の検索・収集</p>									
第5回	<p>研究課題設定の準備③ ・研究課題の検討 ・先行研究、文献資料の検索・収集</p>									
第6回	<p>研究課題設定の準備④ ・研究課題の検討 ・先行研究、文献資料の検索・収集</p>									
第7回	<p>研究計画の作成① ・研究課題決定、研究計画の作成</p>									
第8回	<p>研究計画の作成② ・研究課題決定、研究計画の作成</p>									
第9回	<p>研究計画の作成③ ・研究課題決定、研究計画の作成</p>									
第10回	<p>研究計画の作成④ ・研究課題決定、研究計画の作成</p>									
第11回	<p>研究計画の作成⑤ ・研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成</p>									
第12回	<p>研究計画の作成⑥ ・研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成</p>									
第13回	<p>研究計画の作成⑦ ・研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成</p>									
第14回	<p>研究計画の作成⑧ ・研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成</p>									



第15回	研究計画の作成⑨ ・ 研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成
第16回	研究計画の作成⑩ ・ 研究対象、研究内容の検討、調査票等の作成
第17回	研究の実施① ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第18回	研究の実施② ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第19回	研究の実施③ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第20回	研究の実施④ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第21回	研究の実施⑤ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第22回	研究の実施⑥ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第23回	研究の実施⑦ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第24回	研究の実施⑧ ・ 研究の実施、回収、回答状況の確認
第25回	研究のまとめ① ・ 調査の集計、分析、まとめ
第26回	研究のまとめ② ・ 調査の集計、分析、まとめ
第27回	研究のまとめ③ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第28回	研究のまとめ④ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第29回	研究のまとめ⑤ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第30回	研究のまとめ⑥ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第31回	研究のまとめ⑦ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第32回	研究のまとめ⑧ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第33回	研究のまとめ⑨ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第34回	研究のまとめ⑩ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第35回	研究のまとめ⑪ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第36回	研究のまとめ⑫ ・ 調査の集計、分析、まとめ
第37回	卒業論文作成① ・ 論文作成、研究発表の準備等

第38回	卒業論文作成② ・論文作成、研究発表の準備等
第39回	卒業論文作成③ ・論文作成、研究発表の準備等
第40回	卒業論文作成④ ・論文作成、研究発表の準備等
第41回	卒業論文作成⑤ ・論文作成、研究発表の準備等
第42回	卒業論文作成⑥ ・論文作成、研究発表の準備等
第43回	卒業論文作成⑦ ・論文作成、研究発表の準備等
第44回	卒業論文作成⑧ ・論文作成、研究発表の準備等
第45回	卒業論文作成⑨ ・論文作成、研究発表の準備等
第46回	卒業論文作成⑩ ・論文作成、研究発表の準備等
第47回	卒業論文作成⑪ ・論文作成、研究発表の準備等
第48回	卒業論文作成⑫ ・論文作成、研究発表の準備等
第49回	卒業論文作成⑬ ・論文作成、研究発表の準備等
第50回	卒業論文作成⑭ ・論文作成、研究発表の準備等
第51回	卒業論文作成⑮ ・論文作成、研究発表の準備等
第52回	卒業論文作成⑯ ・論文作成、研究発表の準備等
第53回	卒業論文作成⑰ ・論文作成、研究発表の準備等
第54回	卒業論文作成⑱ ・論文作成、研究発表の準備等
第55回	卒業論文作成⑲ ・論文作成、研究発表の準備等
第56回	卒業論文作成⑳ ・論文作成、研究発表の準備等
第57回	卒業研究の仕上げ① ・卒業論文発表会・論文仕上げ
第58回	卒業研究の仕上げ② ・卒業論文発表会・論文仕上げ
第59回	卒業研究の仕上げ③ ・卒業論文発表会・論文仕上げ
第60回	卒業研究の仕上げ④ ・卒業論文発表会・論文仕上げ

授業の達成目標	<p>栄養教育の評価に必要な統計について自己学習を継続し、知識と技術を深める。【知識・理解の育成】  新聞・テレビ・雑誌・インターネット等に掲載される情報に関心を持ち、将来の管理栄養士として、対象者となる各ライフステージにおける人々の生活習慣や心情など栄養教育に関連する事柄に対して、自分なりの考えを持つよう意識し、与えられた職務を実践する能力を身につける。【態度・志向性の育成】【汎用的技能の育成】  将来の社会人としての礼節やコミュニケーションスキルを高める機会に積極的に参加する。</p>
学位授与方針(DP)との関連	<p>1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)</p>
授業時間外学習【予習】	<p>課題解決に向けた研究計画の遂行を通して、授業で学んできた栄養教育マネジメントの意義、方法についてさらに知識・技術を深める。(3時間)</p>
授業時間外学【復習】	<p>課題解決に向けた研究計画の遂行を通して、授業で学んできた栄養教育マネジメントの意義、方法についてさらに知識・技術を深める。(3時間)</p>
課題に対するフィードバック	<p>研究室主催の「卒業研究発表会」を開催し、講評を行う。  必要に応じて修正・加筆を指示、最終的研究成果をまとめた論文とする。</p>
評価方法・基準	<p>研究意欲30点  知識の習得状況30点  研究成果40点  以上の結果を総合的に判断する</p>
テキスト	<p>研究テーマに応じて参考資料を用いる。</p>
参考書	<p>必要に応じて紹介する。</p>
備考	<p>管理栄養士として行政・病院・学校等で勤務した経験と、これまで他大学における卒業研究および論文の指導経験に基づき、実践的栄養教育に必要な知識と技能、卒業研究について指導を行う。</p>

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	実験		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	小川 恒夫							ICT活用	
授業概要	<p>卒業研究では食事内容が血糖、中性脂肪、インスリン、グルカゴンに与える影響を調べる研究を行う。炭水化物、脂質、たんぱく質をそれぞれ多く含む朝食を摂取し、食前および食後に採血し血糖、中性脂肪、インスリン、グルカゴンを測定する。</p> <p>インスリン、グルカゴンは血糖を調節するホルモンであり、食事内容によりどのような影響を受けるかについて調べる。病院での実務経験のある教員によって臨床に即した研究が行えるように指導する。</p>								
関連する科目	本授業の履修前に受講することが望ましい科目：からだと疾病Ⅰ・Ⅱ、臨床医学Ⅰ・Ⅱ、からだと疾病実習Ⅰ・Ⅱ 本授業の履修後に受講することが望ましい科目：なし								
授業の方法と進め方	研究テーマを与え、それに関する文献を読み、研究テーマを理解する。研究テーマに関する実験方法を定める。実際に実験を行い結果を出す。結果を考察し、論文にまとめる。								
第1回	第1回 血糖値および中性脂肪値についての論文を読む（1） 論文検索の仕方を学ぶ。								
第2回	第2回 血糖値および中性脂肪値についての論文を読む（2） 論文中の重要事項を抽出する。								
第3回	第3回 インスリンおよびグルカゴンについての論文を読む（1） 論文検索の仕方を学ぶ。								
第4回	第4回 インスリンおよびグルカゴンについての論文を読む（2） 論文中の重要事項を抽出する。								
第5回	第5回 これまで読んだ論文をまとめる（1） 論文内容をノートなどにまとめる。								
第6回	第6回 これまで読んだ論文をまとめる（2） 論文内容をノートなどにまとめる。								
第7回	第7回 これまで読んだ論文について討論する（1） 解決された内容と未解決の内容を整理する。								
第8回	第8回 これまで読んだ論文について討論する（2） 未解決の内容について、どのようなアプローチが可能か討論する。								
第9回	第9回 採血方法、血液の扱いについて理解する（1） 血液による感染事故について過去の事例を学ぶ。								
第10回	第10回 採血方法、血液の扱いについて理解する（2） 採血時の事故について過去の事例を学ぶ。								
第11回	第11回 採血の練習をする（1） 指先からの血糖測定を行う。								
第12回	第12回 採血の練習をする（2） 指先からの血糖測定を行う。								
第13回	第13回 実験計画を立てる（1） 未解決の問題に対してどのような方法で解決できるか考える。								
第14回	第14回 実験計画を立てる（2） 第13回で考えた実験方法が、本学で実行可能かどうかを考える。								
第15回	第15回 実験計画を立てる（3） 第13回で考えた実験方法が、予算的に実行可能かどうか考える。								
第16回	第16回 実験計画を立てる（4） 第13回で考えた実験方法が、期間的に実行可能かどうか考える。								
第17回	第17回 予備実験を行う（1） 計画通り実行出来たか検証する。								

第18回	第18回 予備実験を行う（2） 計画通り実行出来たか検証する。
第19回	第19回 予備実験を行う（3） 計画通り実行出来たか検証する。
第20回	第20回 予備実験を行う（4） 計画通り実行出来たか検証する。
第21回	第21回 本実験を行う（1） 計画通り実行出来たか検証する。
第22回	第22回 本実験を行う（2） 計画通り実行出来たか検証する。
第23回	第23回 本実験を行う（3） 計画通り実行出来たか検証する。
第24回	第24回 本実験を行う（4） 計画通り実行出来たか検証する。
第25回	第25回 本実験を行う（5） 計画通り実行出来たか検証する。
第26回	第26回 本実験を行う（6） 計画通り実行出来たか検証する。
第27回	第27回 本実験を行う（7） 計画通り実行出来たか検証する。
第28回	第28回 本実験を行う（8） 計画通り実行出来たか検証する。
第29回	第29回 本実験を行う（9） 計画通り実行出来たか検証する。
第30回	第30回 本実験を行う（10） 計画通り実行出来たか検証する。
第31回	第31回 本実験を行う（11） 計画通り実行出来たか検証する。
第32回	第32回 本実験を行う（12） 計画通り実行出来たか検証する。
第33回	第33回 本実験を行う（13） 計画通り実行出来たか検証する。
第34回	第34回 本実験を行う（14） 計画通り実行出来たか検証する。
第35回	第35回 本実験を行う（15） 計画通り実行出来たか検証する。
第36回	第36回 本実験を行う（16） 計画通り実行出来たか検証する。
第37回	第37回 本実験を行う（17） 計画通り実行出来たか検証する。
第38回	第38回 本実験を行う（18） 計画通り実行出来たか検証する。
第39回	第39回 本実験を行う（19） 計画通り実行出来たか検証する。
第40回	第40回 本実験を行う（20） 計画通り実行出来たか検証する。

第41回	第41回 結果をまとめる（1） 平均値、標準偏差等を計算する。
第42回	第42回 結果をまとめる（2） 平均値、標準偏差等を計算する。
第43回	第43回 結果をまとめる（3） 平均値、標準偏差等を計算する。
第44回	第44回 結果をまとめる（4） 平均値、標準偏差等を計算する。
第45回	第45回 結果のグラフを作成する（1） 棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど適切なグラフを選んで作成する。
第46回	第46回 結果のグラフを作成する（2） 棒グラフ、折れ線グラフ、円グラフなど適切なグラフを選んで作成する。
第47回	第47回 結果について討論する（1） 満足できる結果であったか、予想通りの結果であったかどうか討論する。
第48回	第48回 結果について討論する（2） 満足できる結果であったか、予想通りの結果であったかどうか討論する。
第49回	第49回 論文の緒言を作成する（1） 論文のテーマについて、すでに分かっていること、なぜこの研究を行うことにしたのかを記載する。
第50回	第50回 論文の緒言を作成する（2） 論文のテーマについて、すでに分かっていること、なぜこの研究を行うことにしたのかを記載する。
第51回	第51回 論文の方法を作成する（1） 第3者が全く同じ実験ができる様に詳細に記載する。
第52回	第52回 論文の方法を作成する（2） 第3者が全く同じ実験ができる様に詳細に記載する。
第53回	第53回 論文の結果を作成する（1） 重要な結果を簡潔に記す。
第54回	第54回 論文の結果を作成する（2） 重要な結果を簡潔に記す。
第55回	第55回 論文の考察を作成する（1） 結果を見てどのようなことが分かったかを記載する。予想外の結果が出た場合はその理由を考え、どのように実験方法を修正すれば良いかを記載する。
第56回	第56回 論文の考察を作成する（2） 結果を見てどのようなことが分かったかを記載する。予想外の結果が出た場合はその理由を考え、どのように実験方法を修正すれば良いかを記載する。
第57回	第57回 論文の考察を作成する（3） 結果を見てどのようなことが分かったかを記載する。予想外の結果が出た場合はその理由を考え、どのように実験方法を修正すれば良いかを記載する。
第58回	第58回 論文の考察を作成する（4） 結果を見てどのようなことが分かったかを記載する。予想外の結果が出た場合はその理由を考え、どのように実験方法を修正すれば良いかを記載する。
第59回	第59回 論文の文献を作成する（1） 第3者が「参考文献」も記載を見て、その文献を検索できる様に記載する。
第60回	第60回 論文の文献を作成する（2） 第3者が「参考文献」も記載を見て、その文献を検索できる様に記載する。
授業の達成目標	安全に確実に実験できる様になること。 得られたデータを正しく解析できる様になること。 解析したデータより結論を導き出せること。 得られた結論より、考察できる様になること。

学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)
授業時間外学習【予習】	その日に行う事を教科書や論文で調べる。(1時間)
授業時間外学【復習】	その日行った事をまとめ、理解出来ていなかった事があれば、教科書や論文を読んで、次回までに理解しておく(1時間)
課題に対するフィードバック	研究論文を返却、解説をします。
評価方法・基準	実験態度、論文内容を総合して行う。
テキスト	テキストは特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する。
参考書	参考書は特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献を提示する
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員		Active・L	○
担当教員名	生地 暢							ICT活用	○
授業概要	この授業の目的は、社会に貢献できる管理栄養士を目指して、科学的視点と専門的知識及び技術を持って、良質で安全な栄養・食事管理を行える力を身につけることである。生化学および食品衛生学にもととしたテーマについて、様々なソースからの情報を整理すると共に、遺伝学的、酵素化学的ならびに分析化学的手法等を用いて実験を行い、実験結果をまとめ考察を加えて、さらなる展開を図る。最終的に実験で得られた成果をまとめて卒業論文を作成する。								
関連する科目	生化学Ⅰ・生化学Ⅱ・生化学実験・食品衛生学・食品衛生学実験を受講し、単位修得しておく。								
授業の方法と進め方	生化学および食品衛生学分野においてテーマを決定し、そのテーマに関する実験計画を策定し、実験を行い、得られた結果をデータ解析することによって、考察を深め、最終的に論文作成を行う。資料等はUNIPAにて共有する。								
第1回	研究テーマの策定 関心がある研究テーマについて、様々な情報サイトの検索方法について学ぶ。								
第2回	研究テーマの策定 関心がある研究テーマについて、様々な情報サイトの検索方法について学ぶ。								
第3回	研究テーマの決定・年間計画作成 研究テーマを決定し、研究の進め方について学ぶ。								
第4回	研究テーマの決定・年間計画作成 研究テーマを決定し、研究の進め方について学ぶ。								
第5回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第6回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第7回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第8回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第9回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第10回	文献等の検索 研究テーマについて、さらに文献等の検索を行う。								
第11回	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。								
第12回	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。								
第13回	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。								
第14回	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。								
第15回	実験方法の策定と準備 研究テーマに関連した文献を検索し、その内容を理解し、実験方法等について学ぶ。								
第16回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。								
第17回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。								
第18回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。								





第42回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第43回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第44回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第45回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第46回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第47回	実験とデータ解析 研究テーマに関する実験を行い、実験結果に対するデータ解析を進める。
第48回	後半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、卒業論文のまとめ方について検討する。
第49回	後半報告 研究テーマに対する実験を行い、得られた実験結果報告を行い、卒業論文のまとめ方について検討する。
第50回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第51回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第52回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第53回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第54回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第55回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第56回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第57回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第58回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第59回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
第60回	卒業論文作成・発表 卒業論文を作成し、卒業論文発表を行う。
授業の達成目標	1.課題研究の意義に関心を持ち、知識や技能を総合的に身につける。【知識・理解の修得】 2.生化学および食品衛生学分野で、課題を見つけ、その課題を解決する方法を探ることができる。【問題解決力の育成】 3.課題研究を行う過程で、健康・時間管理等を行い、スムーズに進めることができる。【自己管理能力の育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	研究テーマについて、論文等を十分読み、さらなる知識を得て、実験手順等を十分理解し、実験に臨むこと。得られた結果を解析するにあたって、統計処理などの技術を習得しておくこと。
授業時間外学【復習】	得られた結果から課題を見つけ、その課題を解決する方法等を探求すること。

課題に対するフィードバック	実験、卒業論文作成のなかで、その都度、評価・解説する。
評価方法・基準	卒業研究に取り組む態度、結果についての考察、データのまとめ方、発表態度、論文のまとめ方などで総合的に評価する。
テキスト	特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献等を提示する。
参考書	特にないが、実験を進めていく過程で、適宜必要な文献等を提示する。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究						授業形態	実験		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員		Active・L	○	
担当教員名	竹之山 慎一							ICT活用	○	
授業概要	食品学分野、とくに動物性食品（肉・乳・卵）を中心に栄養・機能性成分に富んだ食品について研究する。具体的には南九州地域、とくに宮崎県で生産される各種動物性食品を中心に、それらの栄養素や機能性成分、美味しさ、軟らかさなど、みやぎブランドアップに貢献できるような研究を遂行する。また食品副産物の有効利用を目的としたバイオリサイクルによる、食品副産物を飼料として給与しそれらから生産される動物性食品の栄養・機能性の評価や、食品の付加価値向上について研究する。これらの研究データをもとに卒業論文を作成する。									
関連する科目	食品学Ⅰ・食品学Ⅱ・食品学Ⅲ・食品学実験・食品学加工学実習、その他管理栄養学科の必須科目全般を事前に履修することが望ましい。									
授業の方法と進め方	毎回前半にパワーポイントによるプレゼンテーションを用いた講義を行い、その後の実験を展開します。授業の全般的に下記の授業計画の項目について実験し、その実験途中に質問項目を投げかけ、グループディスカッション等にて、学びを深められるようにします。また、毎回実験の内容に応じて、レポート課題等を課します。さらには卒業研究の最後に、テーマごとのグループディスカッションを行いパワーポイントによる発表を行います。									
第1回	第1～5回	卒業論文の年間計画および研究テーマの確認（卒業論文の年間計画および研究テーマの確認を行います）								
第2回	第6～10回	研究テーマの決定と実験方法（グループ分け・研究テーマの決定と実験方法の確認を行います）								
第3回	第11～15回	実験・研究準備（実験の為に試薬や器具類の準備を行います）								
第4回	第16～45回	実験・研究実施（実験を行い、実験結果を導き出し、研究を纏めます）								
第5回	第46～50回	論文の書き方・まとめ方（引用文献を検索し、論文の書き方・まとめ方を遂行します）								
第6回	第51～55回	論文作成（実際に卒業論文を執筆し、論文を作成します）								
第7回	第56～59回	論文発表の準備（テーマごとのグループディスカッションを行い、卒業研究を纏め、パワーポイントの作成を行います）								
第8回	第60回	研究論文発表（パワーポイントによる発表を行います）								
授業の達成目標	今まで履修してきた知識と管理栄養士として重要な人間に対する医療を軸とした演習を行い、知識を実践的なものとしていく。									
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)									
授業時間外学習【予習】	【予習】教科書・参考書等を熟読し、講義内容を把握しておくこと（1hr）。									
授業時間外学習【復習】	【復習】講義内容や配布資料を確認・復習しておくこと（1hr）。									
課題に対するフィードバック	レポートは評価後、返却及び解説を行います									
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲・質疑応答-40点 2) 卒業論文-60点									
テキスト										
参考書										
備考										

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	実習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	村上 真珠美							ICT活用	○
授業概要	教員の指導による研究計画・研究方法・研究報告等の事前学習と、学生自らがこれまでの臨床栄養学で学んだ分野を選択し、企画・運営・交渉・調査・分析等を進めて、研究論文としてまとめる。								
関連する科目	臨床栄養学 管理栄養学科すべての必修科目の単位を修得すること。								
授業の方法と進め方	研究取材、集計、論文作成、報告会を行う。随時指導していく。研究生でのグループワーク手法やプレゼンテーション手法を行う。								
第1回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
第2回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
第3回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
第4回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
第5回	ゼミの年間計画および研究テーマの検索								
第6回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
第7回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
第8回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
第9回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
第10回	研究テーマの決定と論文の書き方・まとめ方								
第11回	研究内容の実地プラン作成								
第12回	研究内容の実地プラン作成								
第13回	研究内容の実地プラン作成								
第14回	研究内容の実地プラン作成								
第15回	研究内容の実地プラン作成								
第16回	研究調査実施準備①								
第17回	研究調査実施準備①								
第18回	研究調査実施準備①								
第19回	研究調査実施準備①								
第20回	研究調査実施準備①								
第21回	研究調査実施準備②								
第22回	研究調査実施準備②								
第23回	研究調査実施準備②								
第24回	研究調査実施準備②								
第25回	研究調査実施準備②								

第26回	研究調査実施
第27回	研究調査実施
第28回	研究調査実施
第29回	研究調査実施
第30回	研究調査実施
第31回	研究調査のまとめ
第32回	研究調査のまとめ
第33回	研究調査のまとめ
第34回	研究調査のまとめ
第35回	研究調査のまとめ
第36回	研究調査のまとめ
第37回	研究調査のまとめ
第38回	研究調査のまとめ
第39回	研究調査のまとめ
第40回	研究調査のまとめ
第41回	論文作成
第42回	論文作成
第43回	論文作成
第44回	論文作成
第45回	論文作成
第46回	論文作成
第47回	論文作成
第48回	論文作成
第49回	論文作成
第50回	論文作成
第51回	論文作成
第52回	論文作成
第53回	論文作成
第54回	論文作成
第55回	論文発表の準備
第56回	論文発表の準備
第57回	論文発表の準備
第58回	論文発表の準備
第59回	論文発表の準備

第60回	研究論文発表会
授業の達成目標	これまでに培ってきた臨床栄養学の知識や実践力の集大成として、自らが取り組んだ研究テーマに沿った内容を論文としてまとめ、プレゼンテーションを通して報告することができる。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	"予習：研究テーマに関連した文献を読む。食に関する最新のニュースについて説明できるように簡潔な文章にまとめる。(2時間)
授業時間外学【復習】	復習：調査あるいは同室の専攻生と行ったディスカッションの内容を整理しておく。(1時間)
課題に対するフィードバック	研究室内でまとめた論文の発表会を行い評価し、研究成果をまとめた論文とする。
評価方法・基準	研究に取り組む意欲20点、知識の習得状況30点 研究成果30点、発表20点
テキスト	必要に応じて紹介する。
参考書	必要に応じて参考資料を用いる。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	長友 多恵子						ICT活用	○	
授業概要	本授業の目的は、人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのか、また、食環境に働きかけることで生活習慣へ好影響を与える方法等について研究することである。これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成する。								
関連する科目	履修前に、公衆栄養学を中心とする専門科目授業全般を受講しておくことが望ましい。								
授業の方法と進め方	まず、研究テーマを決め、なるべく自主的に、自らの探究心を持って研究を進める。研究室の他学生と協力しながら、発表に備えて、3年までに経験し学んだ知識や方法を駆使し、まとめていく。パソコンを使用した検索や作図・統計処理等を行い、課題の提出の一部は、ユニバのクラスプロファイル上で行う。								
第1回	年間計画についての説明 教員が予定したスケジュールに個人の研究計画詳細を考える。								
第2回	文献等の調査および自己モニタリング(1) - 1 : 研究テーマに沿って、文献検索を行い、自分の研究テーマの目標を確認する。								
第3回	文献等の調査および自己モニタリング(1) - 2 : 文献検索の結果から、自分の研究テーマの目的や方法を確認する。								
第4回	文献等の調査および自己モニタリング(1) - 3 : 文献検索の結果から、自分の研究テーマの仮説の見直し等を行う。								
第5回	文献等の調査および自己モニタリング(1) - 4 : 自己モニタリングのまとめと発表資料作成								
第6回	文献等の調査についての発表(1) : 自己モニタリングの発表								
第7回	文献等の調査および自己モニタリング(2) - 1 : 発表評価に基づき、研究内容修正や情報の再検索を行う								
第8回	文献等の調査および自己モニタリング(2) - 2 : 発表評価に基づき、研究内容修正や情報の再検索を行う								
第9回	文献等の調査および自己モニタリング(2) - 3 : 発表評価に基づき、研究内容修正や情報の再検索を行う								
第10回	文献等の調査および自己モニタリング(2) - 4 : 発表評価に基づき、研究内容修正や情報の再検索を行う								
第11回	文献等の調査についての発表(2) : 自己モニタリングの発表2								
第12回	研究計画の作成1 : 研究計画を作成する								
第13回	研究計画の作成2 : 研究計画を作成する								
第14回	研究計画の作成3 : 研究計画を作成する								
第15回	研究計画の作成4 : 研究計画を作成する								
第16回	研究計画についての発表 : 作成した研究計画を研究室で発表する								
第17回	第1次調査等1 : 研究計画に沿って、必要な実験・調査等を行う								



第18回	第1次調査等2 ：研究計画に沿って、必要な実験・調査等を行う
第19回	第1次調査等3 ：研究計画に沿って、必要な実験・調査等を行う
第20回	第1次調査等4 ：研究計画に沿って行った実験・調査等について、発表できるようまとめる
第21回	第1次調査についての発表 ：各自、行った実験や調査等について発表する
第22回	第2次調査等1 ：前回までに行った結果から、必要に応じて修正等を行い、引き続き、研究を進める
第23回	第2次調査等2 ：前回までに行った結果から、必要に応じて修正等を行い、引き続き、研究を進める
第24回	第2次調査等3 ：前回までに行った結果から、必要に応じて修正等を行い、引き続き、研究を進める
第25回	第2次調査等4 ：前回までに行った結果から、必要に応じて修正等を行い、引き続き、研究を進める
第26回	調査結果の集計1 ：調査結果の集計を行う
第27回	調査結果の集計2 ：調査結果の集計を行う
第28回	調査結果の集計3 ：調査結果の集計を行う
第29回	調査結果の集計4 ：調査結果の集計を行う
第30回	調査結果の集計5 ：調査結果の集計を行う
第31回	調査結果の統計解析1 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第32回	調査結果の統計解析2 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第33回	調査結果の統計解析3 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第34回	調査結果の統計解析4 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第35回	調査結果の統計解析5 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第36回	調査結果の統計解析6 ：パソコンを使用して、集計した調査結果の統計解析を行う
第37回	統計解析についての発表 ：調査結果の統計解析を発表する
第38回	論文の書き方についての説明 ：論文の書き方を確認し、各自で準備する
第39回	論文作成1 ：緒言を中心に作成する
第40回	論文作成2 ：方法を中心に作成する

第41回	論文作成3 ：結果を中心に作成する
第42回	論文作成4 ：結果を中心に作成する
第43回	論文作成5 ：結果を中心に作成する
第44回	論文作成6 ：考察・結論を中心に作成する
第45回	論文作成7 ：考察・結論を中心に作成する
第46回	論文作成8 ：考察・結論を中心に作成する
第47回	論文作成9 ：論文全体の整理、修正等
第48回	論文作成10 ：論文全体の整理、修正等
第49回	論文作成11 ：論文全体の整理、修正等
第50回	論文作成12 ：論文全体の整理、修正等
第51回	発表準備1 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第52回	発表準備2 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第53回	発表準備3 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第54回	発表準備4 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第55回	発表準備5 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第56回	発表準備6 ：卒業論文発表に向けて、パワーポイントの作成・原稿作成を行う
第57回	発表準備7 ：論文発表のリハーサルを行う
第58回	発表準備8 ：論文発表のリハーサルを行う
第59回	発表準備9 ：論文発表のリハーサルで気づいた点の修正を行う
第60回	卒論発表 ：論文を発表し、評価を受ける
授業の達成目標	卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。【知識・理解を応用し活用する能力の獲得】【問題解決力・問題発見力の獲得】【情報リテラシー（情報利活用力）・数量スキル・論理的思考の獲得】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)
授業時間外学習【予習】	自己モニタリングの集計、調査結果の集計、発表等の準備を行う（各1時間）

授業時間外学【復習】	他者の発表を見て評価したり、自分の発表にフィードバックすることで改善点をまとめておく（1時間）
課題に対するフィードバック	学生が作成した案や途中発表についてアドバイスを行う。
評価方法・基準	取組状況 20点 卒業論文 50点 卒論発表 30点
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	・初めての栄養学研究論文（第一出版） ・必要に応じて適宜紹介する。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究						授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員			Active・L	○
担当教員名	川北 久美子								ICT活用	○
授業概要	<p>食べる順番が血糖値に及ぼす影響や身体活動量、食事、食習慣が体組成に及ぼす影響、生活習慣との関係、日常取り入れたい栄養補助食品の選定などの他、学生が興味のあるテーマについて、実験、演習を通して学ぶ。</p>									
関連する科目	<p>事前からだと栄養、基礎栄養学、基礎栄養学実習を履修し、知識を確認しておくことが望ましい。</p>									
授業の方法と進め方	<p>卒論テーマとなる研究を実施して、得られた結果をグラフで示す方法や、解析結果の活用法について、グループワークや個人指導を通して卒論を完成させる。パワーポイント資料を作成し、プレゼンテーションにて報告しながら、その都度添削をして完成させる。そのなかで、結果から考察を導くために、調べる内容についてヒントを与え、それに従って学生自らが調べ、調べた内容について情報共有、ディスカッションを行う。</p> <p>卒業研究はグループで協力して、もしくは個人で進める。</p>									
第1回	<p>オリエンテーション 卒業研究の進め方や心得などについて学ぶ。</p>									
第2回	<p>研究室の研究テーマの説明 取り組む研究内容について概要を説明する。</p>									
第3回	<p>研究テーマ決定① グループもしくは個人で取り組むテーマを決定する。</p>									
第4回	<p>研究テーマ決定② 今後のスケジュールを計画する。</p>									
第5回	<p>研究テーマに関する検討① 研究テーマに沿った研究方法の検討を行う。</p>									
第6回	<p>研究テーマに関する検討② 研究テーマに関する論文検索の方法を学ぶ。</p>									
第7回	<p>プレゼンテーション① 研究目的のプレゼンテーションを作成する。</p>									
第8回	<p>プレゼンテーション② 研究方法のプレゼンテーションを作成する。</p>									
第9回	<p>研究計画① 研究計画の作成を行う。</p>									
第10回	<p>研究計画② 作成した研究計画の検討を行う。</p>									
第11回	<p>研究準備① 研究に必要なリストを作成する。</p>									
第12回	<p>研究準備② リストに沿って研究が始められるよう準備する。</p>									
第13回	<p>研究1の予備試験① 予備試験を行う。</p>									
第14回	<p>研究1の予備試験② 結果の検討、本試験の準備を行う。</p>									
第15回	<p>研究1の本試験① 本試験を行う。</p>									

第16回	研究1の本試験② 結果の検討、追加試験の準備を行う。
第17回	研究1の追加試験① 追加試験を行う。
第18回	研究1の追加試験② 結果の検討、まとめの準備を行う。
第19回	研究1の試験結果まとめ① データの整理、グラフの作成などを行う。
第20回	研究1の試験結果まとめ② まとめを行う。
第21回	研究1の考察① 得られた結果から目的に沿った考察を考える。
第22回	研究1の考察② 考察のまとめ、今後の展望をまとめる。
第23回	研究2の予備試験① 予備試験を行う。
第24回	研究2の予備試験② 結果の検討、本試験の準備を行う。
第25回	研究2の本試験① 本試験を行う。
第26回	研究2の本試験② 結果の検討、追加試験の準備を行う。
第27回	研究2の追加試験① 追加試験を行う。
第28回	研究2の追加試験② 結果の検討、まとめの準備を行う。
第29回	研究2の試験結果まとめ① データの整理、グラフの作成などを行う。
第30回	研究2の試験結果まとめ② まとめを行う。
第31回	研究2の考察① 得られた結果から目的に沿った考察を考える。
第32回	研究2の考察② 考察のまとめ、今後の展望をまとめる。
第33回	研究1の総括 研究1の中間報告の準備を行う。
第34回	研究2の総括 研究2の中間報告の準備を行う。
第35回	中間報告① 研究1の中間報告を行う。
第36回	中間報告② 研究2の中間報告を行う。

第37回	試験結果の統計解析① 研究1のデータ解析を学ぶ。
第38回	試験結果の統計解析② 研究2のデータ解析を学ぶ。
第39回	論文の書き方・まとめ方の指導① 一般的な論文の書き方・まとめ方を資料を参考に学ぶ。
第40回	論文の書き方・まとめ方の指導② 研究1, 2の論文についてまとめ方を学ぶ。
第41回	論文作成① 諸言を完成させる。
第42回	論文作成② 目的を完成させる。
第43回	論文作成③ 試験方法を完成させる。
第44回	論文作成④ 結果を完成させる。
第45回	論文作成⑤ 論文考察作成を念頭に入れた関係論文を検索する。
第46回	論文作成⑥ 論文考察作成を念頭に入れた参考図書を検索する。
第47回	論文作成⑦ 考察を完成させる。
第48回	論文作成⑧ 論文と参考文献の最終チェックを行う。
第49回	論文作成⑨ 試験の検査項目などに関連するテーマについて各自調べ学習をする。
第50回	論文作成⑩ 調べ学習のまとめを行う。
第51回	論文作成⑪ 各自で調べた内容を発表する。
第52回	論文作成⑫ 発表した内容を論文に追加する。
第53回	論文提出① 論文の提出を行う。
第54回	論文提出② チェック後の論文訂正を行う。
第55回	論文提出③ 論文訂正後の検討を行う。
第56回	論文提出④ 論文提出の最終準備を行う。
第57回	論文提出⑤ 論文提出の最終チェックを行う。

第58回	論文プレゼンテーション① 論文プレゼンテーションの指導、準備を行う。
第59回	論文プレゼンテーション② 論文プレゼンテーション、製本をする。
第60回	まとめ 取り組んだ卒論テーマを今後どのような場面で生かしていけばよいかなど意見交換を行う。
授業の達成目標	1.研究室みんなで協力して研究を行い、卒業論文をまとめる。【汎用性技能の育成】【コミュニケーションスキルやチームワークの育成】 2.研究テーマを通して学んだことを卒業後の管理栄養士業務に生かす。【態度、志向性の育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/ 3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外学習【予習】	【予習】なぜこの研究を行っていくかを考えた時、必然的に自身がどのようなことを知っておく必要があるのかということが見えてくる。それをもとに必要な情報を文献や図書などから収集しておくこと。試験を行う場合は事前に準備や流れを理解しておくこと。(約2時間)
授業時間外学【復習】	【復習】試験後は、データのまとめを行うこと。またデータから何が言えるのかを考え、それを裏付ける根拠についての情報収集を行うこと。(約3時間)
課題に対するフィードバック	作成されたものはその都度添削する。完成するまでこの作業を繰り返す。
評価方法・基準	コミュニケーション力、協調性、探求力(30点) 卒業論文の内容(70点)
テキスト	特になし。
参考書	からだと栄養Ⅰ、基礎栄養学、基礎栄養学実習などで使用した教科書。 必要に応じて、プリントの配布や文献を提示する。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス	宮崎キャンパス	開設学科	管理栄養学科			
科目名称	卒業研究				授業形態	実習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	Active・L	○
担当教員名	木村 志緒					ICT活用	○	
授業概要	<p>人々が生活の質の向上につながるような望ましい生活習慣に改め、それを継続するにはどうすればよいのかについて研究する。</p> <p>これまで学んできたことを基礎とし、文献等調査や自己モニタリング体験をもとに研究計画を作成し、研究計画に基づき調査・実験等を行い、収集したデータを解析して卒業論文を作成する。</p>							
関連する科目	公衆衛生学、健康管理概論、食事計画論実習Ⅰ、食事計画論実習Ⅱ							
授業の方法と進め方	グループあるいは個人でテーマを定めて取り組む							
第1回	年間計画についての説明							
第2回	テーマに関する文献の収集と閲覧(1) : 翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる							
第3回	テーマに関する文献の収集と閲覧(2) : 収集した文献の「緒言」について各自1つ以上発表							
第4回	テーマに関する文献の収集と閲覧(3) : 収集した文献の「方法」について各自1つ以上発表							
第5回	テーマに関する文献の収集と閲覧(4) : 収集した文献の「結果」について各自1つ以上発表							
第6回	テーマに関する文献の収集と閲覧(5) : 収集した文献の「考察」について各自1つ以上発表							
第7回	データ収集および整理(1) : 翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる							
第8回	データ収集および整理(2) : 1週間分のデータについて発表							
第9回	データ収集および整理(3) : 2週分のデータについて発表							
第10回	データ収集および整理(4) : 3週分のデータについて発表							
第11回	データ収集および整理(5) : 4週分のデータについて発表							
第12回	論文作成(1) : 緒言を中心に							
第13回	論文作成(2) : 方法を中心に							
第14回	論文作成(3) : 結果を中心に							
第15回	論文作成(4) : 考察を中心に							
第16回	論文作成(5) : 総括							
第17回	研究室内で発表(1) : 翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる							
第18回	研究室内で発表(2) : 緒言を発表							



第19回	研究室内で発表(3) ：方法を発表
第20回	研究室内で発表(4) ：結果を発表を発表
第21回	研究室内で発表(5) ：考察を発表
第22回	追加文献の収集および閲覧(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第23回	追加文献の収集および閲覧(2) ：収集した文献の「緒言」について各自1つ以上発表
第24回	追加文献の収集および閲覧(3) ：収集した文献の「方法」について各自1つ以上発表
第25回	追加文献の収集および閲覧(4) ：収集した文献の「結果」について各自1つ以上発表
第26回	追加文献の収集および閲覧(5) ：収集した文献の「考察」について各自1つ以上発表
第27回	追加データ収集および整理(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第28回	追加データ収集および整理(2) ：1週分のデータについて発表
第29回	追加データ収集および整理(3) ：2週分のデータについて発表
第30回	追加データ収集および整理(4) ：3週分のデータについて発表
第31回	追加データ収集および整理(5) ：4週分のデータについて発表
第32回	論文加筆修正(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第33回	論文加筆修正(2) ：緒言を中心に
第34回	論文加筆修正(3) ：方法を中心に
第35回	論文加筆修正(4) ：結果を中心に
第36回	論文加筆修正(5) ：考察を中心に
第37回	研究室内で再発表(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第38回	研究室内で再発表(2) ：緒言を発表
第39回	研究室内で再発表(3) ：方法を発表
第40回	研究室内で再発表(4) ：結果を発表
第41回	研究室内で再発表(5) ：考察を発表

第42回	再追加論文の収集および閲覧(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第43回	再追加論文の収集および閲覧(2) ：収集した文献の「緒言」について各自1つ以上発表
第44回	再追加論文の収集および閲覧(3) ：収集した文献の「方法」について各自1つ以上発表
第45回	再追加論文の収集および閲覧(4) ：収集した文献の「結果」について各自1つ以上発表
第46回	再追加論文の収集および閲覧(5) ：収集した文献の「考察」について各自1つ以上発表
第47回	再追加データの整理(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第48回	再追加データの整理(2) ：1週分のデータについて発表
第49回	再追加データの整理(3) ：2週分のデータについて発表
第50回	再追加データの整理(4) ：3週分のデータについて発表
第51回	再追加データの整理(5) ：4週分のデータについて発表
第52回	論文再加筆修正(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第53回	論文再加筆修正(2) ：緒言を中心に
第54回	論文再加筆修正(3) ：方法を中心に
第55回	論文再加筆修正(4) ：結果を中心に
第56回	論文再加筆修正(5) ：考察を中心に
第57回	研究室内まとめ発表(1) ：翌週以降の研究室内発表に向けて資料をまとめる
第58回	研究室内まとめ発表(2) ：緒言を発表
第59回	研究室内まとめ発表(3) ：方法を発表
第60回	研究室内まとめ発表(4) ：結果および考察を発表
授業の達成目標	テーマ選択から卒業論文作成までの一連の流れの中で、研究の意義や解析の知識とスキルを身につける。
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(1)／2.汎用的技能を応用し活用する能力－(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養－(5)
授業時間外学習【予習】	テーマと関連する論文の検索や閲覧（1時間程度）
授業時間外学【復習】	調査結果の集計等を行う（30分程度） 論文執筆⇒添削を受けるを繰り返す（30分程度）

課題に対するフィードバック	PDCAサイクルの中で、必要に応じて適宜対応する。
評価方法・基準	取組状況および卒業論文を総合して評価する。
テキスト	必要に応じて適宜指定する。
参考書	必要に応じて適宜紹介する。
備考	

## Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究					授業形態	演習		
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員		Active・L	○
担当教員名	出口 佳奈絵							ICT活用	
授業概要	<p>本科目では「時間栄養学の健康科学への応用」をテーマに活動する。いつ、何を、どのように食べるかの時間栄養学を基盤とし、食生活の重要性を明らかにすることを目的とする。これまでの基礎研究と科学実験に基づく結果を栄養と健康の科学的視点から考察し、論文作成と成果発表にいたるまでのプロセスが専門職としての総合力を養うことを目指す。</p>								
関連する科目	(履修前) 基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学 分野								
授業の方法と進め方	<p>チームで活動する。 進捗状況に応じて研究計画の確認と見直しを行う。 定期的なデータ会で意見交換を行い、論文作成に役立てる。 研究成果をまとめてプレゼンテーションを行う。</p>								
第1回	オリエンテーション① 研究計画と研究目的について学ぶ。								
第2回	オリエンテーション② 研究テーマに関する論文(1)について学ぶ。								
第3回	オリエンテーション③ 研究テーマに関する論文(2)について学ぶ。								
第4回	オリエンテーション④ 研究テーマに関する論文(1)についてプレゼンテーションを行う。								
第5回	オリエンテーション⑤ 研究テーマに関する論文(2)についてプレゼンテーションを行う。								
第6回	研究方法の検討① 実験方法の手順(1)について学ぶ。								
第7回	研究方法の検討② 実験方法の手順(2)について学ぶ。								
第8回	研究方法の検討③ 方法の手順について予備実験(1)を行う。								
第9回	研究方法の検討④ 方法の手順について予備実験(2)を行う。								
第10回	研究方法の検討⑤ 方法の手順について予備実験(3)を行う。								
第11回	本実験の計画・方法① 本実験の計画と方法(1)について検討する。								
第12回	本実験の計画・方法② 本実験の計画と方法(2)について検討する。								
第13回	本実験の計画・方法③ 本実験の計画と方法についてプレゼンテーション(1)を行う。								
第14回	本実験の計画・方法④ 本実験の計画と方法についてプレゼンテーション(2)を行う。								
第15回	本実験の計画・方法⑤ 本実験の計画と方法についてプレゼンテーション(3)を行う。								
第16回	本実験の実施① 計画と方法に基づき本実験(1)を行う。								
第17回	本実験の実施② 計画と方法に基づき本実験(2)を行う。								

第18回	本実験の実施③ 計画と方法に基づき本実験(3)を行う。
第19回	本実験の実施④ 計画と方法に基づき本実験(4)を行う。
第20回	本実験の実施⑤ 計画と方法に基づき本実験(5)を行う。
第21回	結果集約とデータ解析① 結果のまとめ方(1)について学ぶ。
第22回	結果集約とデータ解析② 結果のまとめ方(2)について学ぶ。
第23回	結果集約とデータ解析③ データ解析の方法(1)について学ぶ。
第24回	結果集約とデータ解析④ データ解析の方法(2)について学ぶ。
第25回	結果集約とデータ解析⑤ 結果集約とデータ解析を行う。
第26回	データ会① 実験結果(1)について意見交換を行う。
第27回	データ会② 実験結果(2)について意見交換を行う。
第28回	データ会③ 実験結果(3)について意見交換を行う。
第29回	論文の作成① 論文の構成(1)について学ぶ。
第30回	論文の作成② 論文の構成(2)について学ぶ。
第31回	論文の作成③ 論文：緒言(1)の作成を行う。
第32回	論文の作成④ 論文：緒言(2)の作成を行う。
第33回	論文の作成⑤ 論文：実験方法(1)の作成を行う。
第34回	論文の作成⑥ 論文：実験方法(2)の作成を行う。
第35回	論文の作成⑦ 論文：実験結果(1)の作成を行う。
第36回	論文の作成⑧ 論文：実験結果(2)の作成を行う。
第37回	論文の作成⑨ 論文：実験結果(3)の作成を行う。
第38回	論文の作成⑩ 論文：考察(1)の作成を行う。
第39回	論文の作成⑪ 論文：考察(2)の作成を行う。
第40回	論文の作成⑫ 論文：考察(3)の作成を行う。

第41回	論文の訂正① 論文：緒言(1)の改善に取り組む。
第42回	論文の訂正② 論文：緒言(2)の改善に取り組む。
第43回	論文の訂正③ 論文：実験方法(1)の改善に取り組む。
第44回	論文の訂正④ 論文：実験方法(2)の改善に取り組む。
第45回	論文の訂正⑤ 論文：実験結果(1)の改善に取り組む。
第46回	論文の訂正⑥ 論文：実験結果(2)の改善に取り組む。
第47回	論文の訂正⑦ 論文：実験結果(3)の改善に取り組む。
第48回	論文の訂正⑧ 論文：考察(1)の改善に取り組む。
第49回	論文の訂正⑨ 論文：考察(2)の改善に取り組む。
第50回	論文の訂正⑩ 論文：考察(3)の改善に取り組む。
第51回	研究報告① 成果発表の準備(1)を行う。
第52回	研究報告② 成果発表の準備(2)を行う。
第53回	研究報告③ 成果発表の準備(3)を行う。
第54回	研究報告④ 成果発表の準備(4)を行う。
第55回	研究報告⑤ 成果発表の準備(5)を行う。
第56回	研究報告⑥ 研究成果についてプレゼンテーション(1)を行う。
第57回	研究報告⑦ 研究成果についてプレゼンテーション(2)を行う。
第58回	研究報告⑧ 研究成果についてプレゼンテーション(3)を行う。
第59回	研究報告⑨ 研究成果についてプレゼンテーション(4)を行う。
第60回	研究報告⑩ 研究成果について総合的に解説する。
授業の達成目標	①栄養と生体内代謝の関連について理解を深める。【知識・理解の獲得】 ②時間栄養学から健康を考える。【多様性理解の育成】 ③地域に根差した理解しやすいプレゼンテーション力の向上に努める。【問題解決力・論理的思考力の育成】 ④共同作業の重要性を自覚し、時間厳守とモチベーション向上に努める。【コミュニケーション力の向上・チームワークの育成】
学位授与方針(DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(1)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)

授業時間外学習【予習】	健康の成り立ちと食事の栄養学的意義を理解しておくこと。(60分)
授業時間外学【復習】	修得したスキルを記録し、実験ノートにまとめること。(60分)
課題に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・卒業論文は添削して返却する。</li> <li>・研究報告に対してコメントを行う。</li> <li>・研究の成果は総合的に解説する。</li> </ul>
評価方法・基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>①卒業論文(80%)</li> <li>②研究報告(20%)</li> <li>*科学的な判断力と課題解決力を総合評価する。</li> </ul>
テキスト	プリント配布
参考書	参考文献は適宜紹介する。
備考	配布資料の整理を行い、研究内容を記録すること。

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科	管理栄養学科		
科目名称	卒業研究						授業形態	演習	
科目コード	300010	単位数	4単位	配当学年	4	実務経験担当教員	○	Active・L	○
担当教員名	棚町 祥子							ICT活用	○
授業概要	<p>教員の指導のもとに、研究計画・研究方法・研究報告等の事前学習を行う。  3年生までの給食経営管理論での学習のもとに、研究計画・研究方法や企画・調査・データ分析等を行い、研究論文をまとめる。  管理栄養士として病院での経験のもとに、実践的な給食経営管理論についての指導を行う。</p>								
関連する科目	主に給食経営管理論や給食経営管理実習だが、全ての必修科目が関連する。管理栄養学科すべての必修科目の単位を修得すること。								
授業の方法と進め方	<p>研究計画・研究方法・研究報告等の方法を学び、論文作成、報告会を行う。  原則週1回の卒業研究指導を行う。随時教員による個別指導も行う。  研究計画・研究実施・結果報告・評価についてはグループディスカッション、グループワークを行う。  卒業論文作成後、パワーポイントを作成し、発表を行う。またテーマごとにグループディスカッションを行い理解を深める。</p>								
第1回	<p>第1回～第2回  オリエンテーション  卒業研究の年間計画等についての説明。</p>								
第2回	<p>第3～6回  研究テーマの決定の準備  研究課題の検討や先行研究、文献資料の収集。</p>								
第3回	<p>第7～11回  論文作成の基礎について  論文作成の基礎について学び、書き方やまとめ方を学ぶ。</p>								
第4回	<p>第12～15回  調査・研究準備  調査・実験等の準備を行う。</p>								
第5回	<p>第16～45回  調査・研究の実施  研究を実施し、調査等実施したデータの集計等を行う。</p>								
第6回	<p>第46～55回  データ等の分析や引用文献の検索を行い、卒業論文を作成する。</p>								
第7回	<p>第56～59回  論文発表の準備  グループディスカッションを行い、卒業研究についてまとめ、パワーポイント作成を行う。</p>								
第8回	<p>第60回  研究論文の発表  パワーポイントで発表を行う。</p>								
授業の達成目標	<p>給食経営管理論や実習等で得た知識等のもとに、自らが課した研究課題を論文としてまとめ、報告することができる。【態度・志向性の育成】【知識・理解の育成】  研究に必要な統計等の知識を自ら学び、また研究テーマ等に対し、適切な情報収集を行うことができる。卒業後も給食経営管理論の知識だけでなく、管理栄養士として必要な情報収集や学習が継続できる態度や知識を養う。【態度・志向性の育成】【知識・理解の育成】</p>								
学位授与方針(DP)との関連	<p>1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)/1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(1)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(4)/3.人間力、社会性、国際性の涵養-(5)/2.汎用的技能を応用し活用する能力-(3)</p>								
授業時間外学習【予習】	研究テーマに関する文献の検索や文献を読み、簡潔にまとめる。(3時間)								
授業時間外学【復習】	卒業研究でおこなったディスカッションや個別指導等での内容についてまとめる。(1時間)								
課題に対するフィードバック	研究室で卒業研究発表会を行い、評価をおこなう。また研究成果を論文とする。								
評価方法・基準	<p>研究意欲(20点)  知識の習得状況(30点)</p>								



	研究成果（30点） 研究成果の発表（20点）
テキスト	必要に応じて紹介する。
参考書	研究テーマに沿って、その都度参考資料を用いる。
備考	